

時代は中央

鶴岡中央高等学校
PTA広報部発行
2025.3.1 第73号



卒業生のみなさんへ



PTA会長
本間 豊さん

三年生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。

高校を卒業し、いよいよ次のステージに進む時が来ました。大学や短大、専門学校に進まれる人、県内、県外に就職される人などそれぞれの道に進まれることと思います。コロナ禍で入学し、様々な活動に制限がある中で高校生活がスタートしました。最初は思っていたような高校生活が出来なかったかもしれませんが、新型コロナウイルス感染症が5類に移行してからは、以前に近い活動が出来たのではないのでしょうか。関西方面への修学旅行やクラス対抗球技大会、中央祭など思い出がたくさんできたと思います。その思い出を胸に抱き、次の新しい事へのチャレンジにつなげてください。

鶴岡中央高校の校訓に「立志」「気づき」「共生」があります。夢や目標を持ち、実現のための計画を立て、着実に実行する。相手の立場に立つて考える心を持つ。故郷を愛し、地域や社会のために活動する。私はこの言葉が今後の人生に役立つと思います。一度立てた夢や目標へのチャレンジを恐れなくてください。失敗は成長の過程です。新しいことにチャレンジすることで、次への可能性が広がります。失敗して不安で押しつぶされそうになったら両親や先生、友達に相談してください。きつと次につながるアドバイスをもらえるはずです。

皆さんには支えてくれる家族や仲間がいます。人生は一度きり。命を大切に、その瞬間、瞬間を大切に、笑顔でいっぱいの日を過ごしてください。皆さんの未来が輝かしいものでありますように。

卒業おめでとう！旅立ちによせて

「立志・気づき・共生」を胸に羽ばたけ！



校長
兼子 由香 先生

卒業生の皆さん、そして保護者の皆さま、ご卒業おめでとうございます。

新型コロナウイルス感染症という未曾有の時代を過ごしながらも、卒業の日を迎えられたことを心から嬉しく思います。困難を乗り越えようとする姿勢は、皆さんの心身に大きな成長をもたらした、これからの人生に活かされる財産となることでしょう。本当によく頑張ったと思います。

この数年でデジタル化社会が急速に進展し、情報溢れる時代となりました。「自分で考え、自分で判断し、行動する力」がますます求められています。皆さんは、この三年間で「事実」と「フィ



三次主任
笹原 敏也 先生

いよいよ、高校卒業の日を迎えました。この三年間、あっという間だったように感じますが、生徒たちは、様々な経験を通して、心身ともにたくましく大きく成長したと思います。

毎日の授業や中央祭、球技大会、部活動などに熱心に取り組む生徒たちの姿は私にとって感動の連続でした。時には悩み、時には喜びを分かち合い、仲間との絆を深めてきました。

卒業を迎え、少し寂しい気持ちもありますが、お子様たちの未来は無限に広がっています。卒業後、高校で学んだこと、経験したことを胸に、そ

クシヨンを」を見極める力、そして多様な価値観を尊重しながら、自分自身の考えをしっかりと持つ力を養ってきたはずですよ。

本校では、「人との出会い・つながり」を大切にしており、授業や総合的な探究の時間、部活動や学校行事などの様々な活動を実施してきました。これらを通して培った、「コミュニケーション能力や協調性、そして他者への思いやりもまた、皆さんの未来を築く上で、必ずや大きな力となり、困難な壁を乗り越える力となるでしょう。

本校の校訓「立志・気づき・共生」の精神を胸に、それぞれの道へと羽ばたいてください。社会に出て、学び続けることを決して諦めず、常に新しいことに挑戦し続けることで、より豊かな人生を築いていくことができます。

教職員一同、皆さんの未来を心から応援しています。いつかまた、皆さんの笑顔に会えることを楽しみにしています。



れぞれの夢に向かって羽ばたいていてほしいと思います。生徒たちがどんな道を歩むのか、今から楽しみです。社会に出てからも、学校で培った人間関係を築く力や問題解決能力を活かし、大きく貢献してくれることを思います。その活躍が耳に届くことを期待しております。

保護者の皆様には、三年間のご協力に心から感謝申し上げます。PTA活動や学校行事へのご参加など、温かいご支援に支えられ、生徒たちは安心して学校生活を送ることができました。ご家庭でも、教員からは見えない支援や問題があったことと思います。そして、これからの支援が必要なのがあると思いますが、大人としてのアドバイスをしていただければと思います。

何はともあれ、ご卒業誠におめでとうございす。教職員一同、お子様たちの未来を心から応援しております。



3年2組



3年1組



1組担任
塩谷明日香 先生

保護者の皆様、お子様のご卒業、心よりお祝い申し上げます。入学式を迎えた三年前から今日まで、言い尽くせぬ程沢山のことがあったことと思います。大事な我が子のために何かをしてあげることは簡単でも、それを



工藤 愛夏 さん

一組は四十人の仲間と知的な先生のクラスです。私が一番記憶に残っていることは、球技大会です。自分たちの競技を一生懸命やるのも楽しかったのですが、他の人がやっている競技を応援するのにもすごく楽しく、決勝などに進むにつれて、学年やクラス関係なく、全員で応援している一体感のようなものを感じ、心から楽しいと感じました。



2組担任
阿部 隆幸 先生

特にクラス替えをしてからの二年間、最初のうちはちょっと控えめにも思えるクラス、でも毎日何かが起こる！「毎日がスペシャル！」と呟っていた時期も正直ありました。そんな皆さんと一緒に過ごす時間が増えると徐々に二組カラーを発揮してくれました。球技大会での一体感、中央祭飲食店での連携プレーを目にした私は「成長したなあ」と実感しました。でも、皆さんの本番はこれからです。一人一人が目指す道を究めて欲しい。それにはやはり毎日少しずつの積み重ね、諦めないこと。千里の道も一歩から、継続は力なり、好きこそものの上手なれ頑張ってください。卒業おめでとう！



五十嵐美唯 さん

三の二は三十八人の生徒と一人の愉快な先生がいる楽しいクラスです。このクラスで二年間学校生活を送り、楽しいことがたくさんありました。特に印象に残っているのは中央祭のダンスコンテストで最優秀賞を取ったことです。あのときは声がかかるくらい叫びました。このクラスであった出来事は一生の宝物です。今まで本当にありがとう。



3年4組



伊藤 心菜 さん

三年四組は全員の個性が強く、明るく、面白くとても楽しいクラスです。毎日が笑い声で溢れ、行事などでは一生懸命に取り組む人が多く成功を収めることが出来ました。四組で過ごした一年間はあっという間で卒業して先生やクラスの友達と離れるのは寂しいですが、それぞれの道でも頑張りますよ!!



4組担任
土門 俊樹 先生

ご卒業おめでとうございます。三年間を通じたお父様、お母様のご理解とご協力のおかげで無事、卒業担任を迎えることができました。ほっとしています。そして長かったです…。帰宅後には、子ども達からもこれまでのお礼とこれからのご挨拶があると思います。たぶん…。私にとって「いつか来た道」と思いながら楽しく過ごした三年間でした。子ども達にとっては「これから行く道」を目にし、「寛容性」を身につけることのできた三年間でした。たぶん…。子ども達は、これからももともともっと成長していきます。楽しみにしています。



3年3組



佐藤 諒介 さん

私たち三年三組は普段からとても賑やかで、基本どこからでも常に笑い声が聞こえてくるような楽しいクラスでした。中央祭や球技大会などの行事でも、それぞれが楽しめるように協力し合ったり、譲り合ったりし思い出に残る行事になりました。二年間お世話になりました。楽しかったです。



3組担任
野崎 郁 先生

ご卒業おめでとうございます。そして三年間お疲れ様でした。お弁当のおかずに悩んだり、迎える時間を気にしたり、泥だらけのユニフォームをシンコシ洗ったり…保護者の皆様にとって少々手間と思えたことも、実はかけがえない日々だったのだと思いを馳せている頃ではないでしょうか?今お子さん達は、自らの手で未来と希望を掴んだ自信と誇りでキラキラ輝いています。いつまでもこの輝きが続くように、これからも少し離れたところから見守っていただけだと思います。この成長の過程を、担任として一番身近で目にし、共に喜び味わうことができた幸甚な日々を過ごすことができました。これまでのご支援ありがとうございました。皆様のますますのご活躍を心より祈念致しております。



3年6組



小林 俊惺 さん

三年六組での思い出は「大行事はもうちろんHRが一番楽しかったです。沢山遊んで、クラス一人ひとりの面白いところが見れて良かったです。またいつか会う日もみんな変わらず、元気いっぱいいてくれたら嬉しいです。みんなありがとう!!



6組担任
森 千明 先生

ご卒業おめでとうございます。この三年間、皆様の温かいご支援のもと、お子様たちは大きく成長し、社会へ羽ばたく準備が整いつつあります。お子様の貴重な三年間に携わることができ、幸せです。時には親子でぶつかったこともあるかと思いますが、ご家庭でのご協力に心から感謝申し上げます。皆さんは、これから自分で選んだ道へ進んでいきます。誰かのせいにはせず、責任をもって自分自身の人生を歩んでください。そして、周囲の人への感謝の気持ちを常に忘れずに、思いやりをもった人になってください。ご活躍を期待しています。



3年5組



三浦 温大 さん

三年五組はいつもとても明るく楽しいクラスです。特に担任のみどり先生は僕達のために常に楽しいことを考えてくれています。中央祭や球技大会ではクラス全員で一丸となって楽しみ、最高の思い出を作ることができました。中央高校での思い出を胸に秘めてそれぞれの進路の実現に向けて頑張りますよ!!



5組担任
大野みどり 先生

保護者のみなさま、十八年間の子育てお疲れさまでした。毎日の送迎、お弁当の準備など本当にありがとうございました。確実にお子様方はこの三年間で成長しました。そして、きっとこれからたくさんさんの親孝行をしてくれることでしょう。幸多き人生を心よりお祈りしております。

五組のみなさん、くれぐれもお体には気をつけて。誰よりも長生きしましょう。健康で元氣であれば何でもできます。マイナスの感情は早めに切り替えて、毎日ハッピーに過ごしましょう。何かに挑戦して、自分を高めていきましょう。毎日努力はしましょう。失敗したらちょっと戻ればいいのです。離れてもずっと応援しています。みなさんの大いなる活躍を期待しています。

2年次



関西修学旅行記

各クラスの修学旅行委員に思い出を語ってもらいました!!

おこしやす



私たちのクラスは海遊館に行きました。たくさん海の生き物を見て大満足でした。見終わったあとは、海遊館限定のお土産を見たり、シンベイザメソフトを食べたりして満喫しました。班別活動では着付け体験をして、清水寺で食べ歩きをしたり、おみくじを引いたりしました。宿泊所では大人数の部屋でトランプなどをして楽しく過ごし、みんなの絆が深まりました。学びあり、笑いあいの思い出に残る楽しい修学旅行になりました。



二年一組
原田 采佳さん

文化を味わう修学旅行



1日目
11月10日(日)

学校→仙台空港→神戸空港→奈良公園→薬師寺→旅庵 花月
山形空港→伊丹空港

2日目
11月11日(月)

旅庵 花月→班別自主研修(京都市内)→旅庵 花月



3日目
11月12日(火)

旅庵 花月→クラス別研修→USJ→ホテルフクラシア大阪ベイ

4日目
11月13日(水)

ホテル→神戸SDGs研修→神戸空港→仙台空港→学校
伊丹空港



修学旅行で京都の観光地に行った。清水寺や金閣寺など、歴史ある建築物に感動した。特に、紅葉が美しい季節で、写真をたくさん撮った。お土産や和菓子も買い、一緒に行った友達と楽しい思い出を作った。帰りのバスでは、疲れたけれど、みんな笑顔で、今度はどこに行きたいか話した。京都は素敵な場所だと思ったし、また訪れたいと心から感じた。修学旅行は、貴重な経験をたくさんできて、本当に楽しかった。



二年二組
山科 徹さん

楽しかった修学旅行



修学旅行の二日目は、奈良公園や薬師寺などの歴史的な建物を見て回りました。日本の昔からの仏教の歴史を感じることができました。二日目は班別研修で京都の有名な神社やお寺を回りました。伏見稲荷大社では、多くの朱色の鳥居や綺麗な大社を見ることができました。清水寺では京都を一望できとても綺麗でした。三日目はUSJに行き、沢山のアトラクションに乗りました。最終日はそれぞれに分かれてSDGsの学習をしました。私は外来生物展示センターと荻藻島クリーンセンターに行きました。外来生物が日本にどのような影響を及ぼしているのか、ゴミをどのように処理すればいいのかを考えることができました。修学旅行で学んだことを忘れずにいきたいです。



二年二組
瀬尾 駿介さん

修学旅行を振り返って



神戸SDGs研修

コース名	行先
ヴィッセル神戸コース	ノエビアスタジアム神戸
外来生物展示センターコース	荻藻島クリーンセンター→外来生物展示センター
川崎重工業&早駒運輸コース	川崎重工業→早駒運輸
シスメックスコース	シスメックスソリューションセンター
白鶴酒造コース	阪神甲子園球場→白鶴酒造資料館
麻酔博物館コース	神戸空港→麻酔博物館→国際くらしの医療館



思い出いっぱい修学旅行



二年四組
中村 心優さん

修学旅行二日目は着物の着付けに行きました。初めての着付けで種類もたくさんあり選ぶのが楽しかったです。自分の好きな髪型にセットしてもらい、髪飾りもつけ可愛くしてもらいました。慣れない下駄で大変でしたが、着物で京都の街を歩いてきました。三日目はユニバーサルスタジオジャパンに行きました。初めて乗るのりものが沢山あり楽しかったです。キャラクターと写真を撮ることができて思い出になりました。家族や友達へのお土産も沢山買ってよかったです。この修学旅行を通して、みんなと仲を深めることができよかったです。



もう一度訪れたい京都



二年五組
岡村 星空さん

今回の修学旅行は学びが多くある旅行になりました。また、楽しい思い出もあり、苦い思い出のほかが多くなりました。初めて訪れる地で、限られたお金の使い方が難しいことがわかったり、京都の街を体感し、都会での暮らしを想像してみたりと、将来の自分を思い描けるいい機会になりました。京都嵐山は、山形では見ないようなお店がたくさん並んでいたの、すべて回りきることはできなかったため、もう一度行きたい、と思わせるところだと実感しました。

修学旅行！



二年六組
三浦 凛さん

最後の修学旅行は、初めての体験や貴重な体験をたくさんすることができました。二日目の京都班別行動では私の班は清水寺、伏見稲荷大社を回りました。三日目は六組は道頓堀を回りました。修学旅行で特に印象に残っているのは京都の班別行動です。着付け体験をし、京都の観光地を回った際、外国人の方や他の観光客の方に声をかけていただいたことが印象に残っています。京都を訪れたことがなかったため、画面の中にあつた景色が目の前にあることに感動したことが印象に残っています。



第73回 東北地区高等学校PTA 連合会山形大会に参加して

見つめよう、HOME ～世界へはばたく子どもたちへ～

7/4・5
やまぎん
県民ホール



PTA副会長 齋藤 友和さん

県名	発表題
宮城	あらたなPTA活動のあり方を探して ～コロナ禍から学んだ人とのつながり～
秋田	“だからこそ”を誇りに ～地域の想いを乗せ贈るエール／巡り傘ディスプレイ～
青森	おもてなしのところで育むネットワーク ～学校課題・地域課題に向けたPTAの関わり方～
岩手	継続可能なPTA活動を模索して ～子ども達との体験学習から強化した想い～
福島	睡眠健診プロジェクト ～豊かな心の育成をめざして～
山形	「子どもたち」と「学校・家庭・地域」、 そして「未来」を“つなぐ”PTA活動 ～酒田光陵高校PTAのとりにくみについての紹介～



研究協議テーマ「未来を生きる子どもたちを育むための家庭・地域・学校の連携の在り方」について、各県の代表発表者が個性豊かに発表共有してくれました。それぞれが抱えている問題や課題、地域や歴史・文化を活かして工夫して活動している姿が素晴らしいと感じました。講話ではマンジェット・ベディ氏がグローバルにおける日本の立ち位置から未来にどんな可能性があるのか!?何を身につけておくべきなのかをお話してくれました。まずは自分を知って理解して、なぜ(WHY)?目的を大切に、観察と好奇心を持って気づくこと!それを共感してもらえる様に上手に表現して伝えていくことではないかと正しく共感できる内容でした。今後のPTA活動に活かしていこうと強く感じました。

1 年次

キャリア体験学習・大学企業見学

未来の自分が
見えてきました

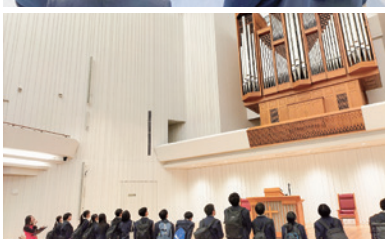


10/22(火)・23(水)
**WAKU WAKU
WORK**



11/11(月) 進路希望ごとのバスで出発

総合コース	尚絅学院大学→東北学院大学
看護医療コース	新潟青陵大学→新潟リハビリテーション大学
教育系・公務員コース	東北公益文科大学→東北文教大学、東北文教大学短期大学部
福祉コース	東北文化学園大学→東北福祉大学国見キャンパス
工学・美術系コース	山形大学米沢キャンパス→東北芸術工科大学
企業見学／就職を見据えた進学コース	酒田共同火力発電株式会社→山形県立産業技術短期大学校庄内校→株式会社平田牧場ミートセンター→丸善食品工業株式会社鶴岡工場



こんな授業をやっています

～特別講師を招いて視野を広く～

3 年次 11/7(木)

市議会議員との意見交換会



テーマ	5班
1班 「人口減少」・脱「消滅可能性都市」	「住みたいまち、住み続けたいまち」
2班 「子育て支援」	「多様性を認め合う社会」
3班 「若者の政治参加」	「鶴岡市SDGs」
4班 「観光振興」・「地域の魅力発信」	「人材育成」・「産業振興」
	9班 「DX化」

1 年次 11/13(水)

やまがたのスペシャリストに聞く トップセミナー
「人や地域どつながりながら、
地域の未来をつくる道。」

合同会社 COCOSATO 代表 阿部 彩人さん



■人生をおもしろくするポイント
その1：何でもチャレンジする！ その2：無駄な経験は何もない！

2 年次 9/18(水) 地元で活躍する庄内人 ～庄内の魅力と課題～



加藤 夕佳さん

菅原 明香さん

田口比呂貴さん

工藤 拓也さん

三浦 明弓さん

富樫あい子さん

〈情報ビジネス系列〉



▲11/3 古今みんなの文化祭に参加

〈家政科学系列 食物系〉



芋ごぼだ餅ふるまい

▲10/14 シルクガールズプロジェクト・松ヶ岡に参加

〈家政科学系列 保育系〉



折り紙リース作り

〈社会福祉系列〉



▲11/22「介護福祉基礎」外出体験

〈美術・デザイン系列〉



▲1/24～2/2 美術・デザイン系列展（鶴岡アートフォーラム）

〈家政科学系列 被服系〉



▲2/23 Silk Girls Collection 2024
「環～終わりのなき縁～」

P T A 研 修 会 9/25(水)

「一つの性、二つの性、色々な性：自由に考えるための言葉」



山形大学人文社会科学部教授 池田 弘乃先生に学ぶ

理解できる人になっていきたい。す
めつけ、イメージが誰かを苦しめて
いて、そういった現状に対応してい
ける世の中であってほしい、自分
自身もそのような決めつけを持たず、

▼「男だから」「女だから」というき
にも講話をいただきました。以下、
生徒の感想です。



▼「性」には多くのあり方があり、正
解はなく、その自身が生きやすい
姿でいるのが一番だと感じた。いろ
んなりある方がいるからこそ、人を傷
つけるような発言をしないというの
は私たちの課題だと思ふ。その在り
方を互いに認め合い尊重していくこ
とで、過ごしやすい社会になると感
じた。一刻も早く同性に対する法制
度を作ることが大切だと思つた。

（二年）

▼私たちよりも上の世代の人は、い
まだに「男は男らしく」「女は家庭を
守るべきなどといった固定概念が
残っているように感じる。これから
もっと多様化していく社会で、すべ
ての人が自分の性の在り方を他人に
とられず、自分らしく選択できる
世の中になってほしい。

（三年）

部 活 動 が ん ば っ て い ま す

今年度は東北大会出場を目標に練習
に励んでいました。芝居をみてくだ
さった皆さんに、作品のテーマが伝
わるように皆で考えながら、稽古に取
り組みました。県大会の結果は悔い
が残るものになってしまいましたが、
部員全員が楽しみながら一つの舞台
を作り上げることが出来ました。ま
た、大きな達成感を得られ、一回り
成長することができたと思います。
来年度も東北大会出場を目標に、個
性を生かしながら、見てくれる方々



演劇部部长
二年三組
酒井ひとえさん

今年度を振り返って



はもちろん自分たちも楽しめる舞台
を協力して作っていききたいと思いま
す。

親子で向きあう進路

親に感謝していること 嬉しかったこと 嫌だったこと



進路活動を振り返って、保護者との関わりを答えてもらいました。言葉や行動ひとつでも、子どもの受け止め方はそれぞれ違うようです。親子のコミュニケーションの参考になればと思います。

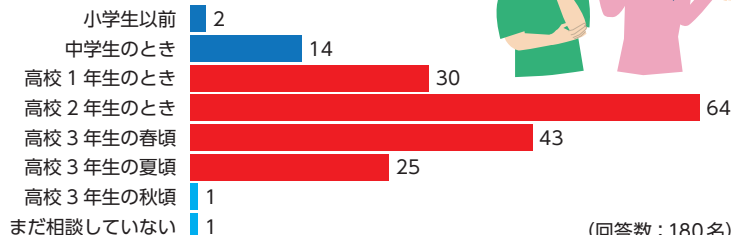
- 奨学金などの自分の努力以外のお金の問題。
- え、就職？進学じゃなくて？
- 勉強しろ。
- 勉強しすぎ、もうやらなくていいよ。
- それは無理。ちゃんと考えて決めろ。
- 自分がよかったらいいんじゃない。
- 他の道考えたら面白いんじゃない。
- 勉強しろ。
- 勉強しすぎ、もうやらなくていいよ。
- え、就職？進学じゃなくて？
- 奨学金などの自分の努力以外のお金の問題。

親に言われて嫌だったこと

- 美味いご飯を作ってくれた。
- 前日の夜ご飯が自分の好きなものを作ってくれた。夜食作ってくれた。
- 天気が悪い中、合格祈願のお守りを神社から買ってきてくれた。
- 試験前の服装チェック。
- 当日送迎をしてくれた。
- ハグしてもらった。
- 変わらぬいつも通り接してくれた。
- 親なりに進路先を調べてくれた。
- 毎日前向きな言葉をかけてくれた。
- 面接練習に何度も付き合ってくれた。
- 車で会場に向かう途中、好きな曲をかけてくれたこと。

3年生に聞いてみました！

高校卒業後の進路について、いつ頃から具体的に保護者と相談を始めたか？



進路決定の際、言われて嬉しかったこと



受験前にしてもらって嬉しかったこと

- いろんな選択でも尊重する。
- なんとかなる。
- 好きなことをやって。
- あなたなら大丈夫。
- あなたにぴったり。
- 向いている仕事だと思うよ。
- 一度きりの人生だからやりたいことをやってみたらいいと思う。
- 本気で頑張るなら全力で応援するから行きたいところにいきな。
- おめならだいじよぶだ。
- 進みたい方向に頑張るなら応援するよ。

保護者への感謝の言葉

- いつも味方でいてくれてありがとう。
- 自分のやりたいこと全部肯定してくれてありがとう。
- 小さい頃からあまり自分の意志を言えなかった私に選択肢をくれてありがとう。
- いつもたくさん動けるようにたくさんのご飯を作ってくれてありがとう。
- 私のできることを認めてくれて、背中を押してくれてありがとう。
- 急に進路変更したのに進学することを認めてくれてありがとう。
- 私のために一生懸命働いてくれてありがとう。
- 学費負担してもらってありがとう。
- 奨学金返済ががんばります。受験や入学費用も話し合っ準備してくれてありがとう。
- 期待に応えることができて、本当に頑張った甲斐がありました。大学辞めないうちに頑張ります。
- 来年から自分の進路を実現するために勉強を頑張ります。
- 自分のことを当たり前にできる人間になれるように、しっかり健康や生活や学習面など成長できるような四年間を送れるように頑張ります。
- これからは自分が親孝行をしていけるようがんばりますので、温かい目で見守ってください。
- 大学卒業して働いたら私のお金で旅行連れてくからね！
- 大好き。
- 本心に心の支えになりました。
- 応援してくれて嬉しかったです。



進路の窓



進路指導課長
田中 裕康 先生

卒業予定者二一四名中、二月十四日現在の進路決定者は一九二人となっています。

進学者の内訳は、四年制大学が四十三名、短期大学が十八名、看護医療専門学校が二十名、その他専門学校等が四十八名です。国公立大学では山形大学理学部に総合型選抜で一名、山形大学人文社会学部に学校推薦型選抜で一名、東北農林専門学校に総合型選抜で一名と健闘しました。全国的な傾向として年内入試と呼ばれる総合型選抜(AO入試)と学校推薦型選抜(推薦入試)での進学者が多くなっています。また、保育系を中心とした短期大学への進学者が多いのが今年度の特徴です。看護医療系では令和七年度四月に新校舎が完成する荘内看護専門学校に七名が合格しています。

一方、民間就職者の内訳は、県内内定者が四十九名、県外内定者が八名となっています。円安、物価高、最低賃金の引き上げ等の影響で、全体の求人数は若干減少しましたが、高卒求人の数は一昨年度から引き続き多く、売り手市場の傾向が続きました。産業別では、製造業と建設業の求人が多くなっています。公務員は六名が挑戦し、鶴岡市初級行政職に二名(内一名は酒田市初級行政職にも合格)、鶴岡市技能職に一名、山形県警に一名、航空自衛隊に一名が合格しました。進学先および就職先の詳細については十二月と三月に発行する進路課だよりでお伝えします。具体的な進路希望をできるだけ早く決め、その目標に向かってコツコツと努力を継続していくことが進路目標実現の秘訣です。ご家庭でもお子様と進路について話をする時間を確保してください。さいますようお願いいたします。なお、進路指導課のホームページもご覧ください。



学校で付与している生
活用Googleアカウント
でアクセスできます。

令和6年度 PTA専門部会事業・会務報告

●研修育成部 会務報告

月 日	事 業 名
5月22日	第1回部会
8月26日～27日	第1回朝の登校指導
9月25日	PTA研修会
10月 7日～ 8日	第2回朝の登校指導
11月12日	第2回部会

●広報部 会務報告

月 日	事 業 名
6月14日	第1回部会
6月28日～29日	中央祭写真撮影
1月24日	第2回部会



編集後記

「時代は中央は年一回の発行にし、中身の充実した広報誌にしたい」と思い、授業風景や部活動紹介も掲載しました。合わせて三年生に進路についてのアンケートも実施しました。写真も多めに取り入れ見応えのある広報誌に仕上がったと思います。

これからも躍動感たっぷりの素敵な広報誌が長く発行されることを期待しています。

PTA広報部長 中里 静絵